

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）  
A：十分達成できている  
B：おおむね達成できている  
C：やや不十分である  
D：不十分である

学校名	多久市立東原庫舎西溪校
1 前年度 評価結果の概要	・自己肯定感を持つ児童生徒の割合が目標80％に達することが出来なかった。自己肯定感もたせていくために、学年の実態に応じた個々の出番の設定と成功体験の実現・承認の機会設定の機会を設けるようにする。 ・前期課程への後期からの乗り入れ授業が進み、5・6年で教科担任制が進んだ。子どもと職員が係わる時間の確保を図っていくため、義務教育学校の特徴を生かしながら業務改善をさらに進めたり、職員の意識改革を図ったりしていく。 ・特別支援学級在籍が20％を超え、一人ひとりにあう指導に取り組んだ。さらに特別支援学級や配慮を要する児童生徒への理解を深めるために、インクルーシブ教育の充実を図ったり、計画的な職員研修の機会を設けたりして、共通理解を図る。
2 学校教育目標	志をもち、自ら学び、共に高め合い たくましく生きぬく西溪っ子の育成
3 本年度の重点目標	○「チーム西溪」としての義務教育学校教職員の協働力の推進 ○「主体的・対話的で深い学び」による学力向上、「あくしゅタイム」の推進 ○いじめの未然防止、早期発見・早期対応、再発防止の取組強化 ○インクルーシブ教育の理念に基づく特別支援教育の充実

4 重点取組内容・成果指標			中間評価		5 最終評価					主な担当者
(1) 共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイルプランの成果指標を達成した教師90%以上	・本校の課題を意識し、学力向上対策シートを活用し、取組の工夫改善を行う。	・		・		・		
	○主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践	○「あくしゅタイム」(考えを交流する活動)で、自分の考えを深めたり広げたりすることができると思う」と回答した児童生徒80%以上	・教育活動全体で「あくしゅタイム」を推進し、児童生徒の考えを深めたり広げたりする。手だてとして、1日1時間以上の授業で「あくしゅタイム」を設定する。	・		・		・		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける道徳教育の充実	●アンケートで「学校は道徳など心の教育に積極的に取り組んでいる」と回答する保護者85%以上	・一人一授業の研究授業を行ったり、研修会を行ったりして道徳科授業の工夫改善を行う ・家庭や地域に、道徳通信を年3回発行する。	・		・		・		
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等について、組織的対応ができていると回答した教師80%以上	・毎月の「あくしゅアンケート」や日記帳、学活ノート等で、いじめの早期発見、早期対応を迅速に行う。	・		・		・		
	◎児童生徒が夢や志を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動の充実	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒90%以上	・行事や体験活動では、児童生徒の自主性・自発性を大切にして、キャリアパスポートにつなげる。 ・各種体験活動では、児童生徒に活動の見通しを立てさせ、学びの振り返りをさせる。	・		・		・		
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	●「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が出来ているという児童生徒・保護者80%以上 ● 気持ちの良いあいさつを進んでいるという児童生徒80%以上	・学級活動や保健だよりの発行等で、児童生徒への啓発を行う。 ・西溪会によるあいさつの励行を推進する。	・		・		・		
	○安全に関する資質・能力の育成	○児童生徒の交通事故・生活事故の発生件数0(ゼロ)	・交通安全教室、集団登校、自転車点検において自己の振り返りを実施する。	・		・		・		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限45時間以内の遵守	・ペーパーレス会議の推進と、終了時刻の提示をして協議のみを行う。 ・学校施設錠時間の設定と徹底 ・定時退勤日の設定と徹底 ・タイムマネジメントを意識し、業務の効率化に向けて働き方を見直す。	・		・		・		
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教師の資質向上と支援体制の構築	○特別支援教育に関する専門性が向上した教師80%以上 ○ケース会議充実による具体的かつ組織的な対応ができた教師80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有 ・児童生徒の実態を把握と保護者、SC、SSW、関係機関等の連携 ・個別支援計画の活用	・		・		・		

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------